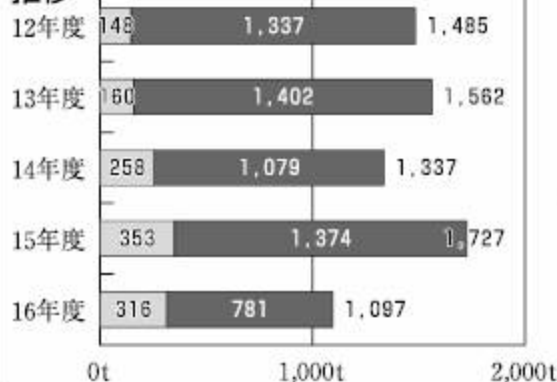
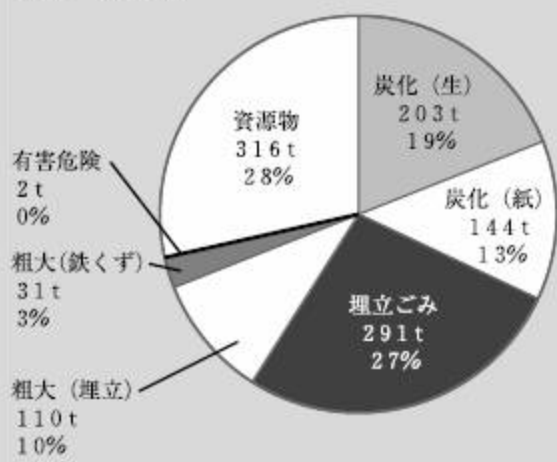


### 下川町のごみ 資源物排出量の 推移



### 平成16年度ごみ排出量の割合 合計 1,097t



### 生ごみを出す時の お願い



昨年まで町で回収していた生ごみは、名寄炭化センターと下川町土壌改良施設の両方で処理していましたが、今年度から全量を下川町土壌改良施設で処理しています。

この施設は、生ごみを堆肥にする施設で、ごみ袋は人の手作業で取り除いています。現在、有料袋の中袋としてレジ袋などをやむを得ない場合に限り使用することを認めています。作業の効率を良くするため、なるべく中袋を使わず、直接有料袋に生ごみを入れていただきたくご協力をお願いします。

# ごみの量、過去5年間で 平成16年度が 1番少ない年 でした！

## 1人当たり 年間51kg減！



平成16年度に下川町で処理したごみの総量は、1,097t、ここ数年で最も少ない量となりました。これを町民1人当たりで換算すると年間26.9kgのごみを処理していることとなります。ちなみに平成14年度は32.0kgなので、1人当たり年間51kgも減少したことになります。(平成15年度は、有料化開始前のためごみの量が急増したため比較の対象となりませんでした。)

### 平成16年度ごみの現状 要因は意識の向上と分別の徹底

ごみの量が減った要因は、分別が徹底されてきたことと一般ごみの有料化に伴う減量意識によるものと考えられ、いずれにしても皆さんの協力が無いと、このような結果にはならなかったと思います。



### 平成16年度ごみの現状 4分の1は手数料を充当

平成16年度下川町では、1,097tのごみを処理するのに、67.5万円の費用がかかりました。このうち有料袋の購入や直接搬入時に納入していただいた廃棄物処理手数料は、1,411万円で費用全体の約25%を占め、貴重な財源として処理費用に充てていただきました。

